

マイ・ホーム・デザインング
マイホーム設計

発刊号
Vol.1

MYHOME Designing

これからの家について考える

特集

家族の笑顔を創るキッチンスタイル

我が家自慢

「誰にとっても気持ちいい住まい」 宮田邸

環境と家計を守る Home ECO Topics

使い終わったお茶の葉でECO 他

キッチンで第2のリビングに 家族の笑顔を作る キッチンスタイル

Proposal of Good House 特集

奥様が一日のうちで多くの時間を過ごすキッチンは、
家族のコミュニケーションの場でもある大切な場所の1つ。
最近では、“キッチン”という枠を超えて、リビングからダイニング、
そしてキッチンと続くワンフロアの開放的な間取りを希望する方も増えています。
ご夫妻と一緒に料理を楽しめる場所、お子様がすすんでお手伝いをしてくれる場所、
お客様にステキなおもてなしができる場所。
そんな理想のライフスタイルに合わせて
リビングのように時間を楽しめるキッチンづくりを目指してみてもいい。



理想のキッチンスタイルを選ぶために大切な3つのPOINT

まずは、家族構成やライフスタイルを見直してみよう。小さなお子様がいるなら、調理中も室内の隅々に目が届く**オープンなキッチン**をお客様が多いなら作業時の手元が隠れる**セミオープン**、家事に集中したいという方は独立した**クローズ型のキッチン**とライフスタイルに合わせたタイプを選んでください。

ライフスタイルを見直す

POINT 1

みなさんの理想のキッチンとはどのようなキッチンですか？

キッチンを選ぶ時にどのような点に注意すれば良いのか、選ぶポイントなどキッチンをつくるヒントを紹介します

セミオープン

オープンなキッチン

クローズ型のキッチン



レイアウトを選ぶ

POINT 2

どんなタイプのキッチンが適しているかを決めたら、下の『6つのキッチンレイアウト』を参考にレイアウトを検討します。料理をする時は、他の家事と並行して行うことも多いもの。洗濯機・浴室などの水回りの位置や室内の広さなども考慮して、間取りに合ったレイアウトを考えます。

動線を確認する

POINT 3

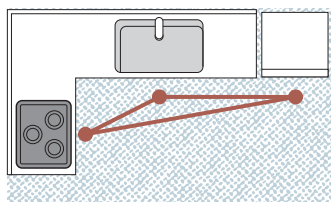
レイアウトが決まった後は、実際に作業をする時の動線をイメージして、使いやすさをチェックしてみてください。まずシンクとコンロ、そして冷蔵庫を線で結びます。この時できた三角形が、調理中の基本動線。バランスのとれた三角形が、作業効率のいいキッチンの目安となります。



6つのキッチンレイアウト

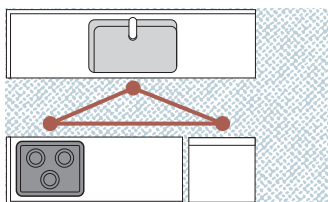
一般的に下記の様なものがあります。

L型



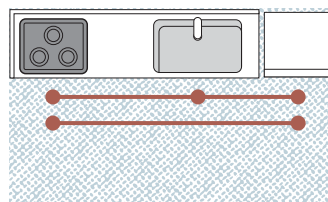
コーナーを利用したL字レイアウトは、複数の人が同時に作業できるゆとり感が魅力。動線が動きやすい直角三角形になる反面、コーナー部分にデッドスペースがでやすいので、収納に工夫をしてみてください。

II型



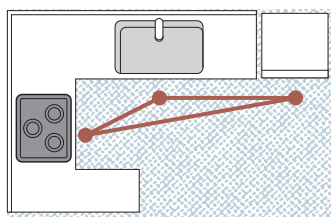
セットを並行に並べるので、コンパクトなスペースでも作業や収納の面積が多くとれるタイプです。2列の間隔が狭くなると作業しにくくなるため、90～120cm程度確保するのが理想。調理する人数も考慮して。

I型



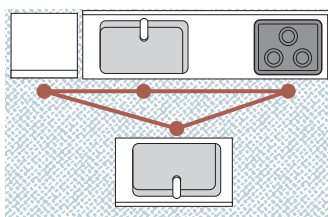
キッチンセットを一列に並べた、シンプルなレイアウト。コンパクトで作業中の動線も直線で済み、少人数での調理には適しています。動線が長すぎると、かえって作業効率が悪くなるので注意が必要です。

ペニンシュラ型



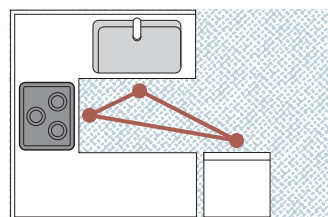
調理台やシンクが壁から半島（ペニンシュラ）のように突き出した形で、オープンキッチン向きのスタイル。こちらも広々とした空間が必要になるので、間取りを配慮した上で選びましょう。

アイランド型



I型やL型などのシンクや調理台の一部を切り離して、島のように配置したレイアウトです。多人数で調理を楽しむにも十分な広さが特徴。ただし、U型と同じくオープンで広いスペースの確保を。

U型



作業する人の回りをカウンターがU字に囲むスタイル。3面のカウンターを広々と使えて動線も短縮でき、収納スペースも多いのですが、それだけに設置するには広いスペースが必要になります。



人も家も第一印象は

大切なポイントのひとつ。

ドアを開けた瞬間、

思わず笑顔がこぼれるような

誰にとっても

気持ちいい住まいをつくりたい、

そんな思いをカタチにした方に

お話をうかがいました。



広々とした玄関が一番のお気に入り。
毎日帰るのが楽しみになりました。

息子2人が大きくなるにつれ、徐々に考え始めたマイホームづくり。いくつかハウスメーカーのモデルハウスを回り始めたんですが、どこへ行ってもまず気になったのが、玄関を入ってすぐに感じる圧迫感でした。限られたスペースの中で、個々の部屋のスペースを広くしようとすると、どうしても玄関や動線が狭くなってしまう。「なんだか暗いなあ」という印象を、毎回受けていたんです。でも、やっぱり玄関は毎日家族やお客様が入り出すところ。玄関からリビングまで、気持ちよく入ることができるような家がいいなあ、思っていました。

そんな中、タツミホームさんのモデルハウスに訪れると、まず入ってすぐの吹き抜けに感動！天井が高いので、とても開放的で居心地の良さが伝わりました。元々、以前はタツミホームさんのアパートに住んでいたので、地元に根付いたハウスメーカーとして対応の良さも実感していましたから、すぐに施工をお願いすることにしました。



Kitchen Bath&

1__広々としたバスルームはリビングに近いので、普段帰りが遅いご主人も食事後すぐにリラックスタイムを満喫できる。
2__家事をしながらもリビングを見渡せるキッチンには、作業がしやすい直線の動線になっているのもポイント。



広々としたリビングをスッキリと保つため、1Fには所どころに便利な収納スペースを設けてある。



Living

一番気に入っているのは、やっぱり玄関。スタイリッシュな収納棚や、中庭を覗く明り通りの小さな窓など、随所にセンスの光るデザインが取り入れられていて、訪れた人に明るい印象を与えてくれます。リビングへの動線も広く、とても移動しやすいですよ。子供たちも広々としたリビングで伸び伸び遊んでいます。リビングと和室を隔てるすりガラスの仕切り戸を開けると、段差もなく繋がりワンフロアに。シーンによって空間を区切ることができて、重宝しています。

また、リビングに隣接したダイニング・キッチンは、適度なセミオープン。家事をしながらリビングで遊ぶ子供たちを見渡すこともできるし、お客様が来た時には作業時の手元が見えることがなく、どちらでも安心です。さらに、キッチンのすぐ横に浴室や洗面台、洗濯場などの水回りを設けてあるので、忙しい朝でも家事がとてもしやすいんですよ。暮らしやすさが考えられた、満足の間取りです。

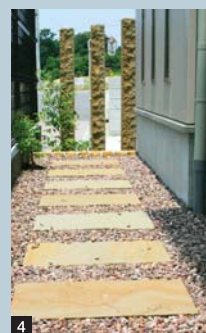


Entrance

3__玄関には、デザイン性の高い造り付けの棚を設置。ホワイト&ダークブラウンの落ち着いた配色がオシャレ。

4・5__緑豊かでゆとりを感じさせるエントランス周辺。

6__入ってすぐ吹き抜けになっている開放感いっぱいの玄関が、訪れる人を迎えてくれる。



5

4

3



6



入居してみて驚いたのは、冬の暖かさです。暖冬だったとはいえ、二冬を越しても寒いと感じたことがあまりなかったですね。それでもオール電化にしたことで、ランニングコストは随分変わりましたよ。ガスと電気を一本化しただけでこれだけ違うのかと、うれしい驚きです。コストだけでなく、お湯が出るのが早

かったり、タイマーをかけておけば安心して他の仕事ができたりと、家事の効率も上がって、ゆつたりと時間を使えるようになった気がします。春になったら、庭に芝を植えたりガーデニングをしたりと、家族と過ごす楽しみを増やしていきたいですね。



Japanese style room

客間として使用している和室は、琉球量でスタイリッシュに。ご両親が訪れた際は、ここでくつろいでもらおう。

只今、
実施中



じっくり見て納得施工！

現地見学会

家を建てたいけど、どうもイメージがわからない。
大切な家だからこそ自分の目で見て確かなものを選びたい。
そんな方はぜひ、見に来てください。
心を込めた家づくりが隔々までご覧いただけます。
見学をご希望される方はお気軽にお問合せください。



前郷にて
5月中オープンハウス完成
ご家族揃ってぜひ起しく下さい。

Home ECO Topics

いまや地球環境を守る【エコ】という言葉は、すでに多くの人に浸透し、普段の生活の中でも実践されている方も多いはず。

中でも主婦層では、地球だけでなく節約にもなりお財布にもやさしい
エコライフのアイデアは、常に注目を集めます。

そこで、課程でもちょっとした工夫ができ、
ライフスタイルを豊かにするエコアイデアを紹介します。



飲んだら香りのリサイクル

お茶を飲んだ後の茶ガラは、乾燥させてアロマポットで焚くと、お茶の香りがお香のようにお部屋いっぱいに広がります。

さらに紅茶の葉は、

魚を焼く前に水と一緒にグリルの受け皿へ。

コーヒーの出がらしは、乾燥させてから小さな容器や袋に入れ、玄関の下駄箱の隅などに置いておけば、

どちらも消臭剤になります。

ティータイムを楽しんだ後に、ぜひ試してみてください。



コンロの炎はお鍋サイズに

早く調理したいからと、鍋から炎がはみだすくらい火を強くしても、はみだした炎は鍋に伝わらず、無駄にガスを消費してしまうだけ。鍋の外へはみださない中火程度の適度な火力をキープするのが、実はもっとも効果的な調理法なのです。また鍋の底が濡れたままだと、水を蒸発させるのに余分なエネルギーが必要になります。底についた水滴はキッチンとふき取ってからコンロにかけて



電化製品も腹八分目が一番

冷蔵庫の中がギッシリ詰まった状態だと、冷気が行き渡りにくく、奥から取り出す際に長い間扉を開けて、冷気を逃がしてしまうことも。入れる必要のあるものだけを入れるよう心がけ、ラックなどを使って庫内をスッキリさせるだけでも立派なエコ。同じく掃除機のフィルターも、いっぱいになっていないかこまめにチェックを。省エネだけでなく、電化製品を長持ちさせるコツです。



MY HOME Designing

みんなでつくるみんなの広場

間違えがしで楽しい時間を...

イラスト①と②では違う所が5カ所あります。探してみてください。答えはP4の下にあります。

①



印刷の関係上、色が少々異なるかも知れませんが間違いに関係ありません。ご了承ください。

②



タテとヨコのヒントを元に
マスを埋めてください。

マスが全部埋まったら★印の文字を拾って並べてみてください。
ヒントは「こわ〜い」です。答えはP5・6の下にあります。

クロスワードで頭の体操

	1		2	★	3
4		5	★	★	
		6			
7	★	8			★
9					10
11			12		

ヨコのヒント

- 秋の魚といえばコレ！
- 秋の花といえばコレ！
- ミッション車にはあって
オートマチック車には無いもの
- 世界で2番目に大きい海は
○○○○洋
- 『慈姑』なんと読むでしょう
- 走って、転んで、足に○○を負う
- 1年に1回だれもがとります
- フランスの首都

タテのヒント

- 球技でボールを味方に渡すこと
- あてもなくさまようこと
- 犬の種類
- レンズ
- 太陽系の惑星の中で
一番大きい星
- うろこの様に見える雲
- 細かい水滴
「○○吹き」

MY HOME Designing
マイ・ホーム・デザインング マイホーム設計

愛知県知事免許(7)第11922号
TM **タツミホーム株式会社**
TATSUMI
☎0120-40-4441

発刊号
Vol.1

2007年5月1日発行

タツミホーム株式会社

〒478-0012 愛知県知多市翼ヶ丘 2-113

TEL.0562-35-1300 FAX.0562-35-1345

E-mail:tm@tatsumi-home.co.jp

http://www.tatsumi-home.co.jp/

発行人

MY HOME Designingにぜひご意見ご感想をお寄せ下さい。皆様のご意見を参考にますます充実した内容にして参ります。